



「鹿島神宮と武士道」をテーマに講演する郷土史家の矢作幸雄さん
＝鹿嶋市宮中1丁目

「日本には武士道必要」

鹿嶋でフォーラム 郷土史家らが講演

「鹿島に武士道を広めるフォーラム」が十一日、鹿嶋市宮中一丁目の新仲家であり、NPO武士道協会の三人が講演し、「現代日本に武士道が必要だ」と訴えた。協

動は初めてという。協合理事で郷土史家の矢作幸雄さんが講演し、「鹿島神宮は武士道の元祖だ。鹿島の大神は剣を

治家に教養が足りない」と政治状況を分析した。小野晋也専務理事（衆院議員）は「現代日本には形式主義、便宜主義、小市民主義がはびこっている。心をたえず必要がある」と話した。

会会員、かしま青年会議所、鹿島アントラーズ私設応援団「インフアイト」などが協力して開催した。

武士道協会は二〇〇八年一月に発足。京都と東京で講演会や勉強会を開いてきたが、地方での活

譲りの交渉を行った」と解説。「武器を使わないで説得することが本当の精神だ。武士道のもとに素晴らしい社会をつくらう」と訴えた。

塩川正十郎理事長（元財務相）は「官僚は責任を取らぬ体質。政治家と役人の話し合いが必要。政